

地域の環境を守る南阿蘇「水田お助け隊」に参加

生産サイトでの地域との協同

富士フィルムグループの液晶ディスプレイ用フィルムを生産している富士フィルム九州(熊本県菊池郡菊陽町)では、地域の方々と地元の豊かな生活環境を守るべく、人的な交流や自然環境の保全などに積極的に取り組んできました。その一環として2010年から、南阿蘇村が主催する「水田お助け隊」に参加しています。

同村は、熊本県の代表的な観光地でもある阿蘇カルデラの南に位置し、富士フィルム九州のある菊池郡に隣接。稲作の盛んな土地ですが、農家の高齢者や後継者不足で、近年、水田の維持が難しくなってきました。「水田お助け隊」は、そうした危機を乗り越えるために、田植えや稲刈りの手伝いを南阿蘇村が呼びかけていたもので、富士フィルム九州は、約3760㎡(1137坪)の水田にてお米作りを毎年行っています。収穫量は毎年約2.0tになっています。

水田が荒廃すれば、大切な日本のふる里の景色が失わ

れるだけでなく、水田の保水機能が低下し、洪水が起きやすくなったり、湧き水が減るなど、様々な弊害が発生します。「水田お助け隊」への参加は、地域社会の一員として地元を支えるための具体的な行動であり、従業員やその家族の環境意識の向上にも役立っています。



田植えの風景



参加者全員で記念撮影



富士フィルム九州が協力した「水田お助け隊」の告知パンフレット